

平成29年 第4回  
京田辺市議会定例会

一般質問（質問項目・要旨）

傍聴用

京田辺市議会

## 12月定例会一般質問日程

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
12月5日 (火)	1	よこやま えいじ <b>横山 榮二</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	1
	2	まつむら ひろし <b>松村 博司</b> (一新会)	3
	3	つぎ た のりこ <b>次田 典子</b> (無党派)	5
	4	こばやし きよし <b>小林 喜代司</b> (みらい京田辺)	6
	5	ますと みりつこ <b>増富 理津子</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	7
12月6日 (水)	6	かわもと たかし <b>河本 隆志</b> (みらい京田辺)	8
	7	あおき こうじろう <b>青木 綱次郎</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	10
	8	さくら い たつし <b>櫻井 立志</b> (公明党)	12
	9	うえ た たけし <b>上田 毅</b> (一新会)	14
	10	かわだ み ほ <b>河田 美穂</b> (公明党)	15

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
12月7日 (木)	11	お か も と り ょ う い ち <b>岡 本 亮 一</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	17
	12	に し は た と し ひ こ <b>西 畑 利 彦</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	19
	13	お か も と し げ き <b>岡 本 茂 樹</b> (一 新 会)	21
	14	な ん ぶ と し こ <b>南 部 登 志 子</b> (無 会 派)	23

※質問時間は、質問答弁併せて60分以内としています。

## 1 介護保険制度の充実について

- (1) 高齢者の暮らしを守るために、一般会計からの繰入や基金の取り崩しにより介護保険料を引き下げること。また利用料を引き下げるなど減免措置を拡大すること。
- (2) 特別養護老人ホームの待機者解消を一刻も早く解決するために、特別養護老人ホームや小規模多機能施設等を増やし、早急に具体化すること。
- (3) 介護労働者離職率が高く、介護職場へ求職者が激減している中で、人材確保は介護事業の存続がかかった緊急・重大な課題。介護労働者の処遇改善のための「介護職員処遇改善交付金」制度を創設すること。
- (4) 介護報酬引き下げ、利用料の3割負担は実施しないよう国に求めること。

## 2 自治体職員の働き方の改革について

- (1) この間働き方の改革はどう進んだか。「残業は週15時間、月45時間、年360時間」と大臣告示が出されている。これを守るべきだと考えるが市の見解は。
- (2) 正規職員を増やしていくことが「住民の福祉の増進に努める」ことになるので、計画的に増員すること。また、これらを通じて超過勤務の縮減・解消にも繋がることになると考えるが市の見解は。
- (3) 非正規雇用労働者の声を丁寧に聴いていると言われるが、どう努力されているのか。アンケートを実施するなどして、要求を聞き、必要な待遇の改善を大幅に行うことが求められると思うが、市の見解は。

## 3 子育て環境の改善を

(1) 待機児童の解消は緊急の課題であり、市をあげての取り組みが求められる。

ア 現在の待機児童はいつまでに解消するのか。

イ 来年度に待機児童をつくらないための対策について。

ウ 待機児童を発生させないためにも、保育士の確保が絶対に必要である。正規の保育士の確保が求められると思うが、市の見解は。

#### **4 地域要求の実現にむけて、地域に居場所をつくってほしい**

大住ヶ丘では高齢化が進み65歳以上が50%を超えている。歩いてすぐの所に、いつでも気軽に利用でき、話し合いや体操などができる居場所がほしいという強い要望がある。空き家なども活用してはどうかという声があり、積極的に取り組んでほしいと考えるが、市の見解は。

**1 中心市街地の都市基盤整備および道路網の促進について**

- (1) 本市の玄関口である新田辺駅、中心市街地（新田辺駅東側）の活性化と都市基盤整備について問う。
- (2) 幹線道路・旧 307 号線の新田辺草内線、田辺高校から新田辺駅までの歩車道分離（歩道の確保）の整備について事業化への進捗は。
- (3) 都市計画道路（昭和 54 年 8 月計画決定）の大住草内線の現状と、今後の事業化に向けた進捗状況を問う。
- (4) 東興戸線の内、国道 307 号線から旧 307 号線までの間が、事業化され幹線道路として平成 30 年度を目途に開通する予定。新しい幹線道路の開通に伴うバス路線の変更についての考えを問う。

**2 北陸新幹線新大阪駅までの南部ルートが確定し、新駅舎が本市の松井山手付近に出来ることも決定した。未来のまちづくりについて**

- (1) 新幹線の新駅舎を生かした、未来につながる本市のまちづくりについて、観光・商業・工業・農業の産業振興について市の考えを問う。
- (2) 新幹線で府内に二つ目の駅舎ができることを、最大限有効に活用するには新駅の「駅名」が重要と考えるが、市長の考えを問う。
- (3) 府南部地域の拠点として新幹線駅舎を考えるなら、多くの自治体の意見も参考にしながら、策定中の第 4 次総合計画（コンパクトシティ構想）の中でも考慮する必要があると考えるが、市としての考えを問う。

**3 コンパクトシティ構想における文化スポーツ施設整備の充実と、国際競技大会開催に向けた総合型複合施設の整備計画について**

- (1) 文化振興計画策定による、本市が目指す文化田園都市のまちづくりに向け、老朽化した中央公民館並びに引き続き改修が必要な中央体育館を、国内外（国際競技）の競技開催に向けた施設整備について、今後の課題や対応についての考えを問う。
- (2) コンパクトシティ複合施設建設に向け、公的も含め民間の力を借り京都南部の交流の拠点づくりとして、複合施設整備計画（文化ホールか市民ホールか、または、文化スポーツ施設も含むのか）に、早期の決定方針が必要と考えるが、市長の考えを問う。

#### **4 教育施策について**

- (1) 平成28年11月に第1回中学校昼食等検討委員会が開催されてから1年が経過した。保護者や市民も非常に関心が高いところであり、現時点における委員会での審議内容と併せ基本的な考えについて市長の考えを問う。
- (2) 就学援助制度のうち、入学準備金の早期支給を行うため事務の見直しが必要と考えるが、課題や今後の対応について市の考えを問う。

<p><b>1 夜間中学設立について</b></p>
<p>(1) 京都府や周辺自治体への働きかけと進捗状況について。</p> <p>(2) 市単独でも対象者の把握を関係団体や健康福祉部と連携し調査せよ。</p> <p>(3) 健康福祉部は生活困難者と教育との関係性をどのように考えるか。</p>
<p><b>2 教育長に問う</b></p>
<p>(1) 市内小学校、保育所における給食の異物混入の現状と安全確保について。</p> <p>(2) 中学校給食実現は可能性はあるのか。</p> <p>(3) 三山木小学校、山手西の通学路に十分な見守り体制をきずけ。</p>
<p><b>3 甘南備園焼却炉建て替えと広域化について</b></p>
<p>(1) 一部事務組合の議員数を同数とするよう求めよ。</p> <p>(2) 道路整備、土地買収を含め今事業総額を示せ。</p> <p>(3) 均等割の根拠と見直しについて。</p> <p>(4) ゴミ量割を人口割とすべきだ。</p>
<p><b>4 公共交通のあり方について</b></p>
<p>(1) 京阪バスが減便となり、市民が大変困っている。早急な見直しをせよ。</p> <p>(2) 市内企業への通勤として、バスの増便を急ぐべきだ。</p>



**1 北陸新幹線（京都－新大阪）の松井山手付近経由ルート決定に伴う JR 片町線の整備について**

- (1) 新幹線開通に伴う路線や駅周辺の整備（等）に市の財政的負担が予想され、今まで長い間取り組まれて来た片町線の整備を先行して取り組む必要があると思うが市の考えについて。
- (2) 松井山手駅から木津駅間の複線化の見通しについて。
- (3) 始発・最終電車の松井山手駅、京田辺駅間の営業運転について。
- (4) 地元から強い要望の出ている興戸地区の第 2 和井田踏切の整備について。
- (5) 踏切の遮断時間の短縮について。

**2 天津神川の整備見通しについて**

京都府も早急に整備が必要な河川に指定されている天津神川の府道八幡木津線の水路橋耐震補強工事終了後の改修予定について。

**3 同志社大学京田辺キャンパスの通学路の整備について**

近鉄興戸駅から府道八幡木津線までの間は、市道、JR の踏切を含めて、京田辺キャンパスが開校以来大きな整備が行われていない。今年度はこの地域の排水整備の調査設計が計画されているが、京田辺キャンパス最寄り駅としての周辺整備が必要だと考える。市の考えは。

**4 市の文化財に対する取り組みについて**

- (1) 市の指定文化財をもっと増やすべきと考えるが、市の考えは。
- (2) 市内の社寺（等）の説明板の整備について。
- (3) 保管されている民具（等）の今後の計画について。

**1 「こどもが輝く京田辺の実現に向けた基本方針」について**

- (1) 地域の特性を生かした小学校接続プログラムとは。
- (2) 5歳児カリキュラム策定のねらいと内容は。
- (3) 老朽化した幼稚園園舎の整備とエアコン設置の計画は。
- (4) 子育て支援拠点の増設計画の内容は。
- (5) 保育所・幼稚園給食に対する市の認識と見解は。
- (6) 今後の保育士確保と養成について市の考えを問う。

**2 子育て支援事業について**

- (1) 一時保育事業の拡充を。
- (2) 児童館事業への市の見解は。
- (3) 新生児聴覚検査の公費助成を。

**3 子どもの虐待への対策について**

貧困、虐待、いじめなど子どもを取り巻くさまざまな困難の解決に向け自治体として早急な取り組みが求められている。虐待件数の増加についての認識と家庭児童相談室の充実について問う。

**4 教育施策について**

- (1) 自校直営方式による中学校給食の実施を。
- (2) 就学援助制度、入学準備金の入学前支給を。

**5 地域要求について**

幼稚園・保育所の送迎時の安全対策を。

**1 子育て支援策について**

- (1) 0、1、2歳児の待機児童が増えている状況で、今後どのような施策を講じようとしているのか。
- (2) 2015年から「子ども・子育て支援新制度」が始まり日本の保育制度の概要が示されている地域型保育、いわゆる小規模保育、家庭的保育、事業所内保育、居宅訪問型保育の4種類の中で、本市で進められる事業については積極的に導入していく必要があると考えるが、市の見解は。

**2 留守家庭児童会（学童保育）について**

- (1) 保育所、保育園の定員が増えている状況で、この先、留守家庭児童会への入会を希望される家庭が増えることが予測できる。今後の対応策は。
- (2) 学校施設外での施設整備や他の施設と連携しての運営、また民間が運営する方法など、さまざまな工夫や新たな施策を展開していく時期にきていると考えるが、市の見解は。

**3 防災広場について**

- (1) 供用開始までの工程スケジュールの進捗状況を問う。
- (2) 平時の際の活用方法について問う。
- (3) 現在、協議されている内容について問う。

**4 既存事業の見直しについて**

既存事業の具体的な見直し方法として、事業仕分けを実施してはどうか。

## 5 友好都市提携について

本市でも国内や海外の自治体も含め、友好都市提携を進め、市民同士が交流できる仕組みづくりを行ってはどうか。

### 1 避難所運営訓練について

- (1) 指定避難所ごとの運営訓練を開始して5年たったが、この間の成果と課題、教訓などについて市としてどうまとめられているのか。
- (2) 今年度には初めて複数同時開催も実施された。その成果と課題、教訓は。また市職員の業務としての参加数、住民の参加数などは、昨年度と比べてどう変化したのか。
- (3) 建築士や医療、調理など様々な資格を有する住民の事前ボランティア登録制度を導入してはどうか。

### 2 原発事故発生に備えた取り組みについて

- (1) 本市は、昨年1月に「原子力災害発生時における広域避難（一次避難）の受入れに関する基本計画」を策定したが、それ以降、同計画の見直し、改定などをされてきたのかどうか、明らかにされたい。
- (2) 政府等は昨年8月に、高浜原発で事故が発生した想定の下で原子力防災訓練を実施し、その教訓などを踏まえて今年10月に「高浜地域の緊急時対応」の改定を行ったが、それに対する本市の受けとめ、見解を明らかにされたい。
- (3) 政府は10月に大飯原発で事故発生の際の住民避難計画を了承したが、大飯原発・高浜原発で同時に事故が発生した場合の対応は未定のままである。このような状態のままでの両原発の再稼働はすべきでないと考えるが、市長の見解を明らかにされたい。

### 3 防災対策について

松井区内を流れる吉原川改修及び、防賀川と虚空蔵谷川の合流部の改修工事の実施時期など具体的な計画を明らかにされたい。

#### 4 大住駅へのエレベーター設置について

大住駅へのエレベーター設置について、JRとの協議の状況や今後の計画、見通しなどを明らかにされたい。

**1 市民の安心・安全をまもる防災対策について**

- (1) 地震による電気火災の発生を防ぐため、揺れを感知して電力供給を停止する「感震ブレーカー」の設置費用の助成をしてはどうか。
- (2) 人工肛門などの装着者(オストメイト)が災害時に自宅から持ち出せなかったストーマ装具を避難所の備蓄品として保管しておいてはどうか。
- (3) 災害時に赤ちゃんの粉ミルクの調乳やアルファ米の調理等に大きなメリットとなるお湯が無料で提供できる「災害対応型カップ式自販機」を飲料メーカーと協定して設置してはどうか。

**2 市民のいのちと健康をまもる医療施策について**

- (1) 胃がん予防のため、ピロリ菌検査とピロリ菌除菌治療費の助成をすべきでは。
- (2) 本年より、国の産婦健康診査事業として、産後のうつ等を予防するため産後2週間、産後1か月の2回に産婦健診を行う費用の助成をすべき。
- (3) がん予防のため、たばこをやめたいと思っている人の禁煙をサポートする「禁煙外来治療費」の助成をしては。

**3 小型家電リサイクルについて**

- (1) 本市では、平成26年10月から市内5か所において、使用済みの小型家電に含まれるレアメタルを再資源化する小型家電リサイクル回収事業をスタートして、まる3年が経つ。これまでの状況を問う。

- (2) 2020東京オリンピック・パラリンピックで使用する金・銀・銅のメダル約5000個を、使用済み小型家電に含まれるレアメタルをリサイクルして製作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」が本年4月にスタートした。この公認プロジェクトに本市も参加し、大会に貢献してはどうか。



**1 いじめ問題について**

全国的に起きている、学校におけるいじめ問題について自殺にまで追い込まれるケースの事態があるが、本市の動向等及び対策等について問う。

**2 企業誘致について**

財政指数に伴う経常収支比率ポイントを下げするために、企業誘致が必要であると考えているが、そういった事及び方法等を考えているのか問う。

企業誘致において他市の良いところを学び、そして取り入れるべきと考えるが、財政豊かな市政運営及び、市内企業における雇用率をあげるための対策等を考えているのかを問う。

**3 安全義務について**

(1) 打田区内の市道付近において土砂崩れが起きかけている。民地内の土砂崩れで済めばまだ良いが、隣接の市道は通学路となっているため、万一、通学途中に土砂崩れが発生した場合の安全義務はどう考えているのかを問う。また、現状をどうしようと考えているのか。

(2) その他、天王から高船間周辺においても、同じような状況があると聞くが、どうなのか。

<p><b>1 検診受診率向上対策</b></p>
<p>(1) 乳がん検診の受診率を上げ、早期発見・治療につなげるため、「乳がん自己検診用グローブ」を配布しては。</p> <p>(2) 子育て中の親の受診率を上げるため、子どもの3カ月検診など同日に親の検診も受けられるように工夫すべき。(子どもの保育も必要)</p>
<p><b>2 子育て施策</b></p>
<p>(1) 入学準備金の支給時期を入学前にすべき。</p> <p>(2) 中学校の制服・体育実技用具等のリサイクルをしては。</p>
<p><b>3 待機児童対策</b></p>
<p>(1) 保育士の確保策は。</p> <p>ア 臨時職員の確保。(賃金、働き方など)</p> <p>イ 保育士資格を持つ市職員に保育士になってもらっては。</p> <p>(2) 待機児童のため、ファミリーサポート・一時的保育事業・認可外保育施設などを利用される時に助成すべき。</p> <p>(3) 家庭的保育・小規模保育など地域型保育も考えるべき。</p> <p>(4) 企業内保育所開設・拡充も働きかけるべき。</p>
<p><b>4 安心・安全のまちづくり</b></p>
<p>(1) カーブミラーの清掃、および特に危険度が高い場所は親水性タイプへの交換を早期にすべき。</p>

(2) 消費者トラブル防止対策の強化を。

ア 早期からの消費者教育の充実を。

イ 消費者への市民講座・出前講座などの広報拡充、回数を増やすなどをすべき。

ウ 電話につけるポップアップシールなどを配布しては。

### 1 留守家庭児童会について

- (1) 現在、三山木留守家庭児童会では専用施設の定員を超える児童については、学校施設を活用し受け入れている。今後、さらに児童数が増加するが、その認識と対応について問う。
- (2) 三山木留守家庭児童会の新たな専用施設の設置を求める。
- (3) これまで、学期中・長期休暇中の開設時間の延長を求めてきたが、今後ともこれまでどおりの運営を行うとのことだが、その根拠を問う。

### 2 三山木小学校の運動場及び体育館の整備について

- (1) 近年、児童数の増加により運動場や体育館が手狭となり、体育の授業や、イベント（運動会・文化の集い・入学式・卒業式等の式典）、部活動等に支障をきたしている。その認識と対応を問う。
- (2) 学校設置基準に基づき、必要な運動場の面積を確保することはもちろん、施設需要に十分対応することができるよう隣接地に体育館の建て替えを検討すべき。

### 3 交通安全対策について

- (1) 2019年4月開園を目指し、同志社山手4丁目で幼保連携型認定こども園が整備される。とりわけ、通学路ともなっている同志社山手南交差点においては、大型車両などが通行すると非常に危険である。通学時間帯規制や誘導委員を配置するなど、安全対策を図るべき。
- (2) 同志社山手中央から同志社山手南交差点までの間（北側）において、自転車歩行者専用道路のインターロッキングがめくれ上がり危険である。事故が起こらないよう早急に修繕すべき。

岡本 亮一

- (3) 今年3月、市道南田辺三山木駅前線が供用開始され通学路となった。  
児童の安全面に配慮し、除草は年2回行うとともに除草時期も考慮すべき。

## 1 まちづくりの基本的考えについて

- (1) 北陸新幹線駅誘致により「効果が得られる」としている根拠と経済効果試算を明確にすべきである。また、「12市町が要望」としてきたが、他の自治体からどのような支援が得られるのか。
- (2) これまで北部拠点地域として整備してきたが北陸新幹線整備に伴い今後、松井山手駅前整備の変更が余儀なくされることから、本市のまちづくり全体を考えなければならない。本市としてどの程度の整備費用を考えられているのか。また、概ねどのような範囲で整備していく考えなのか。
- (3) これまで他の自治体が先行して新幹線駅設置とまちづくりを行ってきたが、どのように現状を把握してきているのか。また、事業の実施にあたり大手企業に依存されていないか、その実態は。
- (4) まちづくりは、バス交通等のネットワーク整備が最大のポイントとされている他市の事例を学び教訓とすべきである。

## 2 自然を守り災害を防止できるまちづくりについて

- (1) 「京田辺市生活環境基本条例」第3条「良好な環境が将来の世代に引き継がれるように適切に行われなければならない。」「環境の保全上の支障が未然に防がれるよう行われなければならない。」ことから、自然破壊となる土砂採集にあたっては、極力区域を限定するなどの規制強化が必要と考えるが本市の考えは。

- (2) 当面の対策として①事業申請地域内の可視化（事業主の責任でカメラを設置）し、公表出来る体制を確保すること。②本市としての監視、パトロールなどを強化すること。抜き打ち検査も含め、産廃などを規制すること。③ダンプトラックによる過積載を取り締まること。また、舗装などの補修や清掃を行うよう徹底すること。④行為責任を明確にすること。⑤工事業者と区・自治会の協定書作成にあたっては、市が統一的な協定書を作成し、該当する区・自治会に対して相談に応じること。が必要であるが、行政改革の下、人員が確保されていない。本市の体制は万全か。
- (3) 台風等による法面崩壊箇所については、その原因を調査・分析し適切な対策を講じること。また、同様の形状を抱える地域の現状把握に努め未然防止を図ることが必要と考えるが、本市の考えは。

### **3 ゴミ焼却施設建設に伴う本市の課題について**

- (1) 基本構想で示された本市負担の当初予算に対する現状と見通しは。
- (2) 市道整備と粗造成にかかる設計などの現状と今後のスケジュールは。
- (3) 施設建設により想定される国道307号の交通渋滞をどのような施策で解消に向けて取り組まれているのか。

### **4 通園・通学路の安全対策について**

- (1) 旧307号と並行する天津神川の一部に蓋かけの未整備区間があり、早期に安全対策として歩道整備すべきである。また、長尾谷バス停やとんち坂などの通学路区間において歩行が困難な箇所については年次計画を作成しその解消を図るべきである。本市の計画は。
- (2) 南里住宅地内の通学路では通り抜け車両が増大し危険である。「ゾーン30」を指定し、車両規制を行い住環境と安全を確保すべきである。本市の考えは。

**1 文化芸術振興計画の具体的推進方策は。**

教育委員会に文化担当者を置き、関係市民による文化振興計画を2年で作成し、成果を一昨年12月末に発表され、平成28年度には調査費が計上された。順調に進んでいるように思えるが、そこで具体的な今後の進め方を聞きたい。

この中で、文化ホールの整備をどのように具体化する予定か。(10年の振興計画の何年目ぐらいに具体化する予定か。調査費750万円の執行は。)

**2 市内保育行政のより積極的な展開について**

来年以降も4月時点定員で大幅に超える状況が生まれるのか。(推計はどうか。)

- (1) 市保育施設の拡充と幼稚園施設の融合(幼保一元化)を三山木以外でも実施せよ。
- (2) 私立施設の積極的な誘致の推進は。(病院内保育施設や企業内施設の積極的活用)

**3 茶屋前交差点から北への府道八幡木津線の混雑緩和対策の積極的な推進について**

- (1) 茶屋前交差点改修終了後、府道八幡木津線への流入車両台数の増加見込みはどうか。(健康村でも心配している人が多い)
- (2) 三野から工場地帯でも朝の出勤時の車の量が多く、来年の高速道路の側道の完成も合わせると、府道の4車線化も必要になると考えるがどうか。



岡本 茂樹

(3) 三野から岡村、東林を經由し大住郵便局前を右折して工場地帯に通う人たちが多く、車の事故や接触により、危険な状態が生まれている。市はこの状況をしっかり把握しているか。(帰宅の時は逆になる。)

### 1 災害対策について

- (1) 10月の大雨被害の状況について問う。
- (2) 今回、私の知る範囲では、山本地区の一部と河原地区の一部で冠水が発生した。両地区とも、これまでに度々冠水被害が発生している。原因と今後の対策について問う。
- (3) 打田地域では、田畑に被害が集中した。また、ナラ枯れをした木が倒木することによって、田畑が崩れる現象も発生している。今後の対策について問う。
- (4) 普賢寺地域の指定避難所は普賢寺小学校となっているが、中山間地域の方々にとって、大雨降雨時に普賢寺小学校に避難をすることは危険である。見直しが必要ではないか。
- (5) 打田地域の集落入り口には、異常気象時通行規制区間（800m）が設けられており、連続雨量が150ミリに達した時、道路が危険な時にそれぞれ通行規制されることになっている。この度京都府より、この連続雨量を200ミリにする旨が提案されているが、現在でも危険な状況がある中で、200ミリにすることは無謀だとする地元の声がある。市の認識を問う。

### 2 地産地消について

- (1) 地産地消を一層進めるためには、地産地消コーディネーターが必要と考えるが、市の見解を問う。
- (2) 学校給食に「まるごと京田辺の日」を。

### 3 性感染症（HIV、AIDSを含む）対策について

- (1) 若年層で梅毒罹患率が急増しており、その対策が急がれている。市および教育委員会の認識は。
- (2) 若年層で性感染症の罹患率が急増しているということは、H I V罹患の可能性も高まっているということである。学校教育で十分な性教育を。

#### **4 交通対策について**

- (1) 市道田辺平田線の車の交通量は、ますます増加している。このままでは危険。対策を求める。
- (2) ハローワーク裏の駐輪場は、既に飽和状態である。対策を求める。

#### **5 戸籍に関する事務処理について**

戸籍に関する届け出における市の対応について問う。